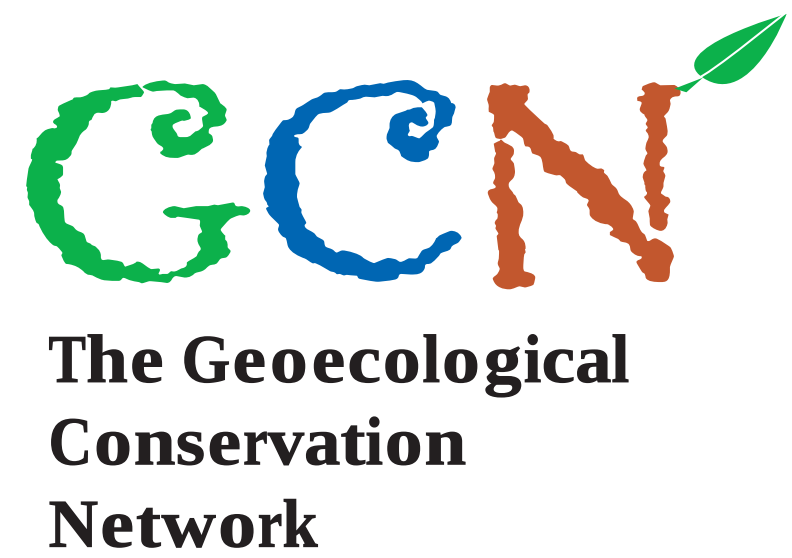




生物多様性の保全 Conservation on Biological Diversity

特定非営利活動法人 地域自然情報ネットワーク



技術者集団としての GCN

ミッション

私たちの生活する地域の自然は、長い歴史のなかで、ゆっくりと時間をかけてはぐくまれてきたかけがえのない自然です。その自然の豊かさと多様性を途絶えさせることなく、次の世代へと伝えてゆくことは、自然環境の調査研究や保護にかかわる人々の共通の思いです。わたくしたちはこのかけがえのない自然の大切さを、伝え、守り育ててゆくことを活動の目的としています。

活動内容

自然環境の保全、自然環境情報の整備および GIS の活用にかかわる活動を行います。1) 調査・解析・評価にかかわる技術の開発と実践 2) 自然環境情報の整備と公開 3) 研究会の開催、教育プログラムの開発と実践 4) 調査、研究、計画業務の受託あるいはコンサルティングの実践 5) 自然環境の保全活動の支援

知ること・学ぶこと

観察会や勉強会を通して、なぜ「ここにこの地形があり」、「この群落が成立し」、「この生物がいるのか」という疑問へと続けることで、環境と生き物、土地の自然、そして地域の歴史と生物群集との密接なかわりについて人々の思考をつなげます。

地生態学、景観生態学の思考を伝えるリーダーを養成することを目的とし、このことは生物多様性保全の第1歩と考えています。

地域自然情報研究会

自然、情報、GISにかかわる多様な話題をとりあげ、研究会を開催。

<http://www.geo-eco.net/kenkyukai/index.html>

最近のテーマ

- 「GISによる国際貢献：モンゴルにおける干ばつ・ソド警戒システムの構築」
- 「生態系レッドデータブックを考える」
- 「里山公園とGIS」
 1. レーザーデータからわかる地形そして樹林
 2. 生物データベース・植物管理データベースの作成と利用
- 「中国内モンゴルホルチン砂地における土地荒廃パターンのフィールド評価とその広域スケージング」



景観生態学&GIS講座

社会人講座の開催や、専門学校・法人組織への出前講座。



自然環境 GIS 講座と現地調査

景観を保全する

景観を評価し保全する。GISによる空間的関係性の把握。



公園の自然環境情報の整備と利用

公園の運営・管理に必要な自然環境情報について資料からデータを整備、さらにレンジャーの観察結果はGPSで位置を記録。持ち帰ったデータはArcGISに。

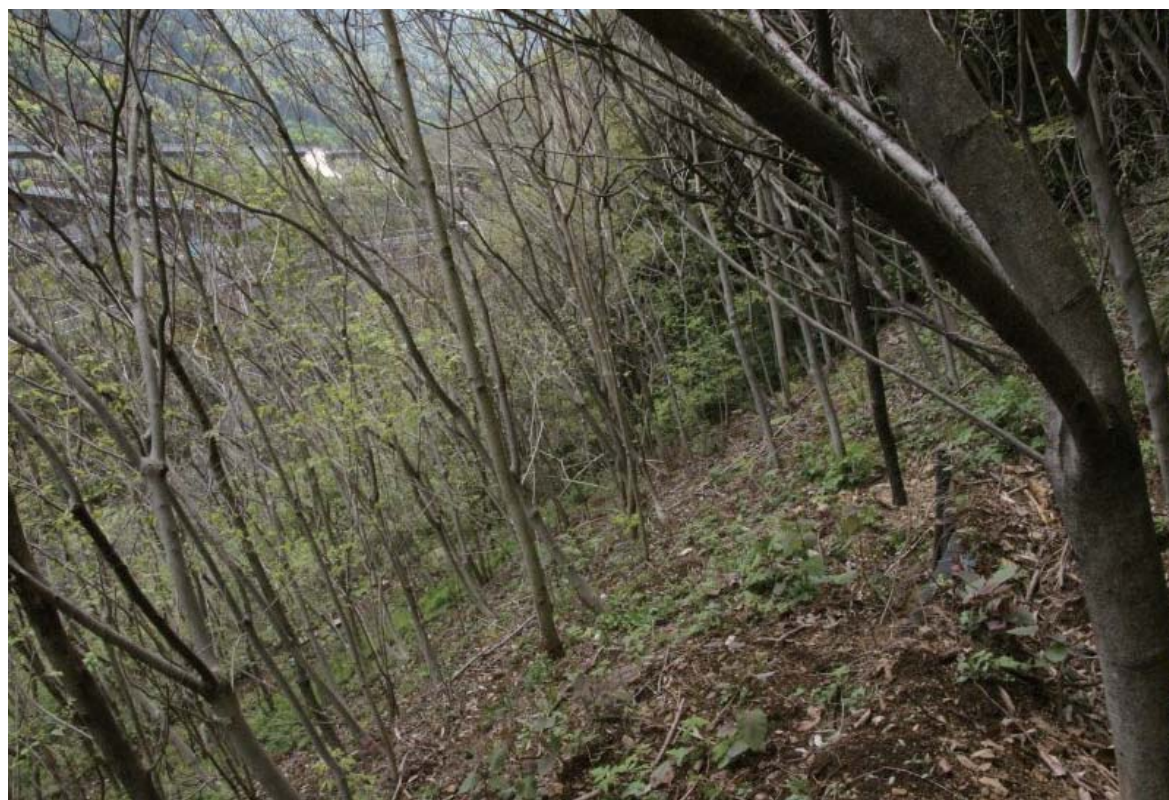


整備されたデータは計画や評価、広報へ

種 (seed) からの森づくり

種子からの森づくりを生き物から評価。

これからの緑化



生態系レッドリスト作成の提案

自然環境の保全は場（空間）の評価が大事。（ケーススタディを開始）

